

紺碧

こ ん

へ き

秋

AUTUMN
2025 vol.15



埼玉石心会病院 泌尿器科部長 坂本 昇

特集

手術支援ロボット 「ダビンチ Xi」の運用を開始

紺碧 2025年秋号 編集・発行：社会医療法人財団 石心会 TEL 044-381-3366 (代) 〒210-0024 神奈川県川崎市川崎区日進町7-1 川崎日進町ビルディング3階 発行責任者：杉山孝博

優しくて頼りになる医療・福祉を目指します。

石心会グループ 埼玉地区

社会医療法人財団 石心会
埼玉石心会病院

〒350-1305 狭山市入間川2-37-20
TEL 04-2953-6611 (代表)
<https://saitama-sekishinkai.jp/>



社会医療法人財団 石心会
さやま総合クリニック

〒350-1305 狭山市入間川4-15-25
TEL 04-2953-9995 (外来予約センター)
〈月～金〉8:00～18:00 〈土〉8:00～17:00
〈日・祝日〉8:30～17:00
<https://sekishinkai-sayama-cl.jp/>
TEL 04-2900-2223 (健診予約)
〈月～金〉8:30～18:00
〈土〉8:30～12:30 〈日・祝日〉休
<https://www.sayama-doc.jp/>



社会医療法人財団 石心会
さやま腎クリニック

〒350-1305 狭山市入間川4-15-20
TEL 04-2900-3333
〈月～土〉8:30～17:00
<https://sekishinkai-sayama-jin.jp/>



社会医療法人財団 石心会
いきいき訪問看護ステーション鶴ノ木

〒350-1305 狭山市入間川4-10-15 TEL 04-2955-2060
<https://saitama-sekishinkai.jp/localcare/ikiiki.php>

社会医療法人財団 石心会
狭山市入間川・入間川東地域包括支援センター

〒350-1305 狭山市入間川4-10-15 TEL 04-2955-1114
<https://saitama-sekishinkai.jp/localcare/irumagawa.php>

社会医療法人財団 石心会
石心会介護支援センター

〒350-1305 狭山市入間川4-10-15 TEL 04-2953-6777
<https://saitama-sekishinkai.jp/localcare/sekishinkai.php>

社会医療法人財団 石心会
石心会ヘルプーステーション

〒350-1305 狭山市入間川4-10-15 TEL 04-2900-1302
<https://saitama-sekishinkai.jp/localcare/helperstation.php>

医療法人社団 東京石心会
さやま地域ケアクリニック

〒350-1323 狭山市鶴ノ木1-33 TEL 04-2955-5000
<https://sayama-care.jp/>

社会福祉法人 石心福祉会
特別養護老人ホームオリーブ

〒350-1313 狭山市大字上赤坂290-1 TEL 04-2950-2400
<https://sayama-olive.jp/>



Cover Photo Story

埼玉石心会病院 泌尿器科部長 坂本 昇



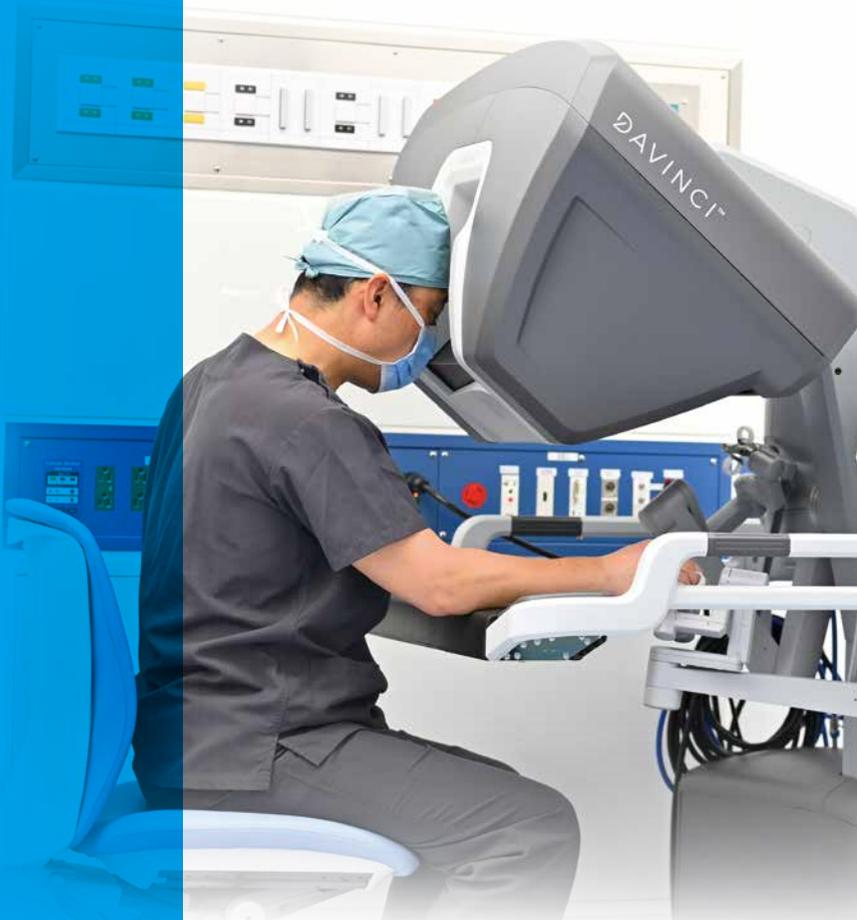
受診の際は、
マイナンバーカードを。

※本誌のマイナンバーカードを印刷したものは、
医療機関での受診に使用できません。医療機関での受診には、
マイナンバーカードの提示が必要です。



紺碧は、埼玉の広大な大地の上に広がる濃紺の空をイメージしています。地域の皆さんへ医療・福祉に関する情報を幅広く、深くお伝えしていきたいと思っております。

社会医療法人財団
石心会

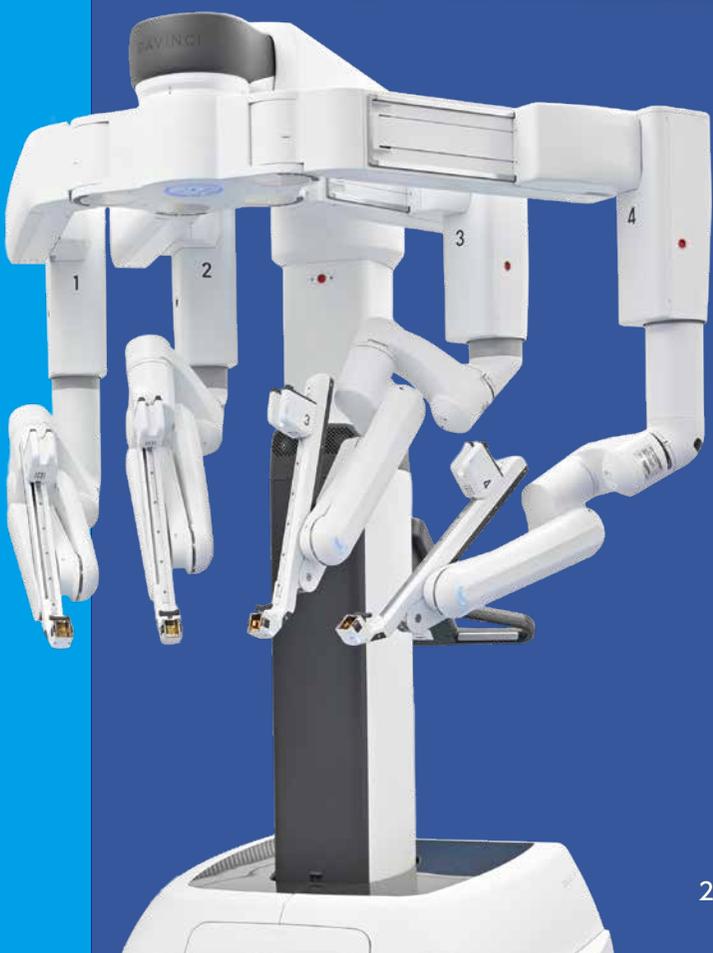


患者さんの身体的負担を軽減

埼玉県心会病院

手術支援ロボット

『ダビンチXi』運用開始



埼玉県心会病院は、手術支援ロボット『ダビンチXi』の運用を2025年7月より開始しました。これにより、開腹手術、腹腔鏡手術と比較して、患者さんの身体的負担が軽減され、精度の高い手術が可能となりました。今回は、『ダビンチXi』運用リーダーを務める、埼玉県心会病院・泌尿器科部長の坂本昇医師に、手術支援ロボットのメリットや適応となる疾患、さらに『前立腺がん』について伺いました。

『ダビンチXi』の特長

私は他院で約400例のロボット支援手術の実績を積みましたが、この度、埼玉県心会病院が『ダビンチXi』を使ったロボット支援手術を開始するにあたり、責任者として、2025年4月、入職しました。

運用を始めた『ダビンチXi』は第4世代とよばれる機種です。これまでの機種との大きな違いのひとつにアームが360度回転できるようになり、これによってあらゆる方

向からのアプローチが可能となり、手術の幅が広がりました。

『ダビンチXi』の特長としては、「細部まで3次元立体画像で確認できる」「拡大視野（10倍）のもとで操作できる」「目的に応じた多種の鉗子が選択できる」「取り扱いやすくて従者の疲労が少ない」などが挙げられ、手術の精度の向上が期待できます。また、執刀医が座って手術ができるため、体力の消耗が少ないこともメリットのひとつです。『開腹手術』『腹腔鏡手術』とも、『ダビンチXi』『腹腔鏡手術』とも、

筋肉の切除量が少ないことです。筋肉の切除量が少ないと、体力の温存に繋がり、術後の回復も早くなります。さらに『腹腔鏡手術』と比べると、『ダビンチXi』は止血しながら処置が行えるため、出血量は極めて少なくなりました。以上のことから、「出血の量が少ない」「機能温存が期待できる」「身体的負担が軽減される（低侵襲）」手術と言えます。

適応となる疾患

日本では『前立腺がん摘出術』がロボット支援手術の保険適用が認められた第一号でした。

その歴史に倣って、当院・泌尿器科では、『前立腺がん』から始めました。次に『膀胱がん』、さらに『尿管』や『腎臓』にも適応の幅を拡げていきたいと考えています。

さらに、当院の外科でも運用を開始しており、診療科の枠を超え、病院が一丸となって『ダビンチXi』の運用に力を入れています。

『ダビンチXi』での『前立腺がん手術』の場合、当院では、術後6日目（合計8日間の入院）での退

院が基本です。多くの病院は10日間ほどに設定していると思いますので、比較的短い方です。

技術が進化しても、最後は『人』が大切

当院は、すでに救急医療を筆頭に各領域で十分な実績を積み重ねています。そこに『ダビンチXi』が加わり、地域の患者さんにより安全で身体への負担が少ない医療をさらに提供できるようになりました。

しかし、あくまでロボットは『支援』をしてくれる立場であり、それを扱う『人』が最も大切だと考えています。

『ダビンチXi』を稼働させるためには、執刀医だけでなく、麻酔科医、看護師、臨床工学技士など多くのスタッフがチームとなって取り組みます。

患者さんによりよい医療を提供し続けられるように、次の世代を担う医療者（医師、看護師、医療技術者など）の育成にも力を入れていきます。

ダビンチXiのメリット



目的に応じた多種の鉗子が選択できる

細部まで3次元立体画像で確認できる



拡大視野（10倍）のもとで操作できる



取り扱いやすく従者の疲労が少ない

患者さんのメリット

出血の量が少ない

機能温存が期待できる

PSA検査

(前立腺特異抗原)
PROSTATE SPECIFIC ANTIGEN



50歳以上の方は、
年1回の『PSA検査』を受けましょう！

前立腺がんの
早期発見・治療のために

01 『PSA検査』とは？

『PSA検査』とは、血液中の前立腺で作られるタンパク質の一種の値を調べる血液検査です。『前立腺がん』『前立腺肥大症』などの検査に用います。

02 家族歴(遺伝)のある方

『前立腺がん』の方が、家族に1人いたらリスクが2倍、2人で3倍、3人なら5倍に増加すると言われています。家族歴のある方は、40歳代のうちから検査を受けましょう。

03 気になることがあれば専門医へ

PSA検査を受け、その数値がもし基準を上回った場合、泌尿器科の専門医がいる病院やクリニックを受診してください。

埼玉石心会病院
泌尿器科部長
さかもと のぼる
坂本 昇

日本泌尿器科学会専門医・指導医
インテュイティブサージカル
da Vinci Certificate 取得
がん医療に携わる医師に対する
緩和ケア研修修了
臨床研修指導医
卒後医師臨床研修プログラム責任者
講習会修了
身体障害者指定医



前立腺がん

日本人男性に最も多い
がんの発見と治療

泌尿器科の特長

当科では、泌尿器系の悪性腫瘍(前立腺がん、膀胱がん、腎がんなど)、尿路結石、前立腺肥大症を主に扱っています。

さらに、女性医師による『骨盤臓器脱』(子宮や膀胱、直腸といった骨盤内の臓器が外に出てしまう)を筆頭とした女性泌尿器疾患も診療可能です。

『骨盤臓器脱』は婦人科でも診療を行っていますが、泌尿器科で診療することで、術後に起こりやすい『尿漏れ』といった症状までカバーできる可能性が高いという違いがあります。

日本人男性で最も罹患数が多い『前立腺がん』

日本人男性で最も罹患数が多いがんが『前立腺がん』です。『前立腺がん』発生の原因は医

学的には明確になっていませんが、食の欧米化が関連している可能性も指摘されています。

一方で、手術を受けてから5年後に生存をしている方の割合を示した5年相対生存率(2009〜2011年)は、99.1%と高く、万が一、罹患しても、慌てる必要はない病気です。

『早期発見・早期治療』が非常に大切

『前立腺がん』には手術以外にも薬を服用する治療法や放射線を使った治療法があり、早ければ早いほど、治療法の選択肢が広がります。『前立腺がん』は進行が遅く、排尿障害や血尿といった自覚症状が出てきたときには、かなり進行している場合があります。

少しでも気になることがありましたら、専門医がいる医療機関への受診をお勧めします。

狭山市にお住まいの方へ

狭山市では50歳、55歳、60歳、65歳、70歳になる男性を対象に市内指定医療機関での『前立腺がん検診』を実施しており、そこで検査可能です。石心会グループの『*さやま総合クリニック 健診センター』も市内指定医療機関ですので、お気軽にお問い合わせください。 ※詳細はP6をご覧ください



手術支援ロボット

ダビンチ Xi

da Vinci

外科 適応疾患

埼玉石心会病院・外科では、

- 直腸がん
- 結腸がん

に対して保険適用でのロボット支援手術を開始しています。今後、『胃がん』など適応疾患が広がる予定です。ご期待ください。



外科ダビンチリーダー、副部長の落合亮二医師(右から3人目)を中心にシミュレーションを行う外科チーム





連携・登録医療機関のご紹介

医療法人社団久遠会 みずほ病院



理事長・病院長 奥井 重徳先生

みずほ病院では在宅中心の生活をめざした、「ときどき入院・入所、ほぼ在宅」を実現するため、3つの病棟と在宅部門によって、患者さんとご家族の生活を支えています。

何らかの病気を抱えていても病院が生活の中心になってしまっは夢を持つことも、人生を楽しむこともできません。医療や介護を必要としていても、生活をする場として病院や施設は相応しくなく、日々の生活の中心は住み慣れたご自宅であるべきです。それを実現するためには、住み慣れたご自宅での生活のなかに、いかにして医療・介護を組み込んでいくかが重要と考え、日々努力しております。

わたしたちは、地域のみなさまと共に、生きることの楽しさや喜び、そして幸せを感じることができる病院でありたいと思っています。

診療科目

内科、消化器内科、リハビリテーション科

住所 〒190-1221
東京都西多摩郡瑞穂町
箱根ヶ崎 535 番 5

電話 042-556-2311



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	—
15:00~17:00	○	○	○	○	○	—	—

日曜・祝日・年末年始は休日となります。



<https://www.mizuho-hp.jp/>

がじゅまる内科クリニック



院長 新垣 秀樹先生

入間市内では初めての血液内科を標榜しているクリニックとして、2025年9月3日開院しました。貧血をはじめ骨髄増殖性腫瘍(真性多血症や本態性血小板血症など)や特発性血小板減少性紫斑病等の血液疾患の中の慢性疾患のフォローを行うことができます。

血液内科医として専門性が高い白血病や悪性リンパ腫などの治療に携わり、訪問診療医として通院できなくなった方の治療や、住み慣れた家で最期まで自分らしい生活を送れるように支援を行った経験から、「健康寿命」を伸ばすことや「予防医学」を心掛け、地域のかかりつけ医として、患者さん1人1人に寄り添った医療を提供してまいります。

気になる症状や、健康診断で異常や精密検査を指摘された際には、当院へご相談ください。

診療科目

内科、血液内科

住所 〒358-0024
埼玉県入間市久保稲荷 1-29-1
第二深井ビル 101

電話 04-2964-0789



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:30	○	—	○	○	○	★	—
14:30~17:30	○	—	○	○	○	—	—

受付時間 ■ 午前8:50~12:00 午後14:20~17:00

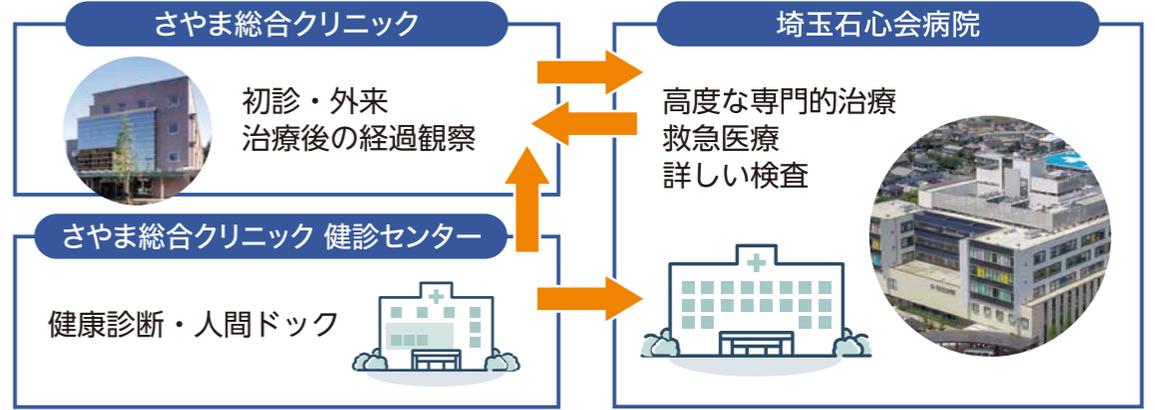
★ 午前9:00~14:00(受付時間 8:50~13:30)

休日 火曜日・土曜日午後・日祝日



<https://gajumaru-clinic.com/>

石心会グループ埼玉地区の診療体制



グループ内の連携

埼玉地区では、急性期治療と入院を受け持つ「埼玉石心会病院」と、外来診療に対応する「さやま総合クリニック」、健康診断や人間ドックを担う「さやま総合クリニック 健診センター」が連携して、地域に貢献する医療を実施しています。

初診・外来は「さやま総合クリニック」で行い、高度な検査、入院・手術は「埼玉石心会病院」で対応します。治療が終わりましたら、再び「さやま総合クリニック」で経過観察を行います。そして、「さやま総合クリニック 健診センター」では疾患の早期発見につながるよう健康診断・人間ドックを実施しています。

一方、救急搬送されるような患者さんの場合、埼玉石心会病院へ救急搬送された時点から、泌尿器科医も救命救急医とともに関わり、検査から緊急手術を含む治療まで泌尿器科医が一貫して対応します。

さやま総合クリニック 健診センター

PSA検査 特別キャンペーン

さやま総合クリニック 健診センターでは、『前立腺がん』に対する検査『PSA検査』を特別価格で受けられるキャンペーンを実施します。この機会に検査を受け、ご自身の体の状態を知るのはいかがでしょうか？

ワンコイン前立腺オプション

期間 2025年10月1日 ~ 12月29日

費用 通常1,760円(税込) → 特別価格500円(税抜)

人数制限 無制限 550円(税込)

申し込み条件 健診にオプションとして追加する場合のみ。※補助がある契約団体には適用できません。

申し込み方法 電話 04-2900-2223 または、こちらから

受付時間 平日 8:30~18:00/土曜日 8:30~12:30 (日・祝日・休み)

